



Title	阪大法学 73巻 3号 表紙
Author(s)	
Citation	阪大法学. 2023, 73(3)
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/92712
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

阪大法学

論 説

納骨堂経営許可等取消訴訟

——大阪高等裁判所への意見書および解題—— 野呂 充 266 [1]

誤振込みと財産犯

——山口地判令和5年2月28日裁判所webによせて—— 品田 智史 220 [47]

戦後刑事控訴制度の成立と展開（1） 胡 逸維 192 [75]

文化芸術助成の憲法的統制に関する一考察（2・完）

——「場」の性質と専門職をめぐる

表現の自由論に着目して 竹下 謙 162 [105]

プラットフォーム事業者による

コンテンツ・モデレーションと表現の自由（1）

——アメリカの法理論を素材として—— 上本 翔大 134 [133]

憲法上の概念の解釈における変化に関する一考察（2・完）

——基本法6条1項の家族概念解釈の変化を対象とした

構造と動態の分析 宇多鼓次朗 104 [163]

独占禁止法におけるプラットフォーム事業者をめぐる

市場画定のあり方 野口宗一郎 76 [191]

研究ノート

民事訴訟法九一条の構造・再考（6・完） 高原 知明 1

資 料

研究会：ヨハネス・マージング教授の

学術的・実務的活動について 松本 和彦 54 [213]
高田 篤

マージング学説の今日的重要性

——基本法44条における調査権のドグマーティク—— 磯村 晃 52 [215]

集会の自由の現在

——フラポート判決と集会の場の選択権—— 門田 美貴 38 [229]

第73卷 第3号

(2023年9月)

(通卷第345号)

大阪大学法学会